

議 事 録

会 議 名	令和6年第2回半田警察署協議会（定例会）
日時・場所	令和6年7月1日（月）午後3時00分から午後5時10分まで ----- 半田警察署交通棟仮庁舎会議室
出席者	<p>1 委員</p> <p>天木 一貴委員 水野 良子委員 新海 正和委員 勝田 厚秀委員 佐々木 壽委員 鈴木 一郎委員 颯田 昌光委員 市脇 幸子委員 上野 公德委員 山下 平八郎委員 原 真理委員</p> <p style="text-align: right;">以上11名（定数12名）</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>2 警察署員</p> <p>中嶋署長 水野副署長 樋江井警務課長 杉浦会計課長 中山生活安全課長 浅野地域課長 石川刑事課長 平岡交通課長 長江警備課長</p> <p style="text-align: right;">以上9名</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>3 有識者等</p> <p>なし</p>
諮問事項等	情勢の変化と地域の実情に応じた地域警察活動
答申等の概要	<p>1 情勢の変化に即応できる事件事故対処能力の向上</p> <p>2 山車まつり文化の継承に欠かせない警察による安全指導の推進</p> <p>3 夏季における南知多町海水浴場の安全対策の更なる強化</p>
そ の 他	次回開催予定 令和6年8月から9月にかけて

会議の経過及び発言の要旨	
1	会長挨拶
2	署長挨拶
3	犯罪及び交通事故発生情勢（生活安全課長・交通課長説明）
4	前回の答申に対する具体的施策の推進状況
	(1) 諮問事項
	飲酒運転根絶対策
	(2) 答申事項
	ア 自治体・関係団体と連携した「飲酒運転根絶BOX」の周知徹底と活用しやすさの向上方策の検討
	イ 様々なキャンペーン等を活用した効果的な広報啓発活動の推進
	ウ 教育機関と連携した子供から親に対する意識付けを促進させる広報啓発活動の推進
	(3) 答申に基づいた施策の推進状況（交通課長説明）
	ア 答申事項アについて
	○ 「飲酒運転根絶BOX」の二次元コード作成
	○ 地域生活情報誌への掲載
	イ 答申事項イについて
	自治体と連携した交差点立番活動の実施
	ウ 答申事項ウについて
	○ 交通安全教室を通じた取組
	子供から保護者に啓発チラシを手渡すよう依頼
	○ 管内企業に対する取組
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 飲酒運転根絶サポート店委嘱式の実施 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通講話における「飲酒体験ゴーグル」による危険性の意識付け 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 弁当業者に対する配達用弁当への啓発チラシの入込みを依頼 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 酒類販売店によるカゴへのチラシ貼付けや店内ポスター掲出 	
○ 警察活動を通じた広報啓発活動	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 巡回連絡や交番、駐在所への来所者に対するチラシ配布 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 交番・駐在所連絡協議会を通じたチラシ配布と飲酒運転根絶の呼び掛け 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通検問を通じて啓発チラシをドライバーへ配布 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転免許更新窓口における啓発ポスター、チラシの掲出 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県警ツイッターを活用した広報活動の実施 	
エ なお、当署における効果的な速度取締方策として、本年6月から通学路・生活道路対策として可搬式速度違反自動取締装置による運用を開始した旨説明し、機材展示を行った。	
5 諮問	
(1) 諮問事項	
情勢の変化と地域の実情に応じた地域警察活動	
(2) 諮問事項の設定理由	
当署は、東海地方有数の観光地である南知多町、美浜町を含む知多半島を管轄しており、春から秋にかけて管内各地で開催される祭礼や花火大会に伴う雑踏警備、夏季は海水浴場における海浜警備の他、海上保安庁等と連携した海上警察活動が求められる地域性がある。	
記録者	警務係長

会議の経過及び発言の要旨

また、近年は駅、商業施設、レジャー施設等多数の群衆が集まる場所における無差別殺傷事件の発生を念頭に、関係機関等と連携した対処訓練を継続して実施しているところである。その上で、管内特有の実情を踏まえつつ、情勢の変化に応じた活動が必要とされることから、諮問事項とした。

6 協議

委員 ・ 管内の海水浴場について、昔からよく知っているつもりであったが、地域課長の説明を受けて今の実情を理解した。

時代の変化に応じて警察の対応は多岐にわたっているが、情勢の変化に対してどうするかという方向で協議を進めたい。

委員 ・ 海水浴場警備は、従来から年齢層が高い。特に少子化で、従事者が少なく、困難な現状である。

毎年、自治体による安全対策会議や暴力追放パレードが開催され、警察と自治体が一丸となって、地元の祭りや盆踊りの警備に従事してもらっている。安全対策を講じていても事件・事故は発生する。

定期的な巡回警備を自治体、地域住民と一体となったパトロールの実施やチラシの配布等で、関係各位と一体となった取組が必要だと思う。

委員 ・ 観光に関わる商売は地元の業者が請け負っていたが、跡継ぎがない、経済情勢等の変化から、最近は地元以外の人が担っていることが多い。そうすると、必然的に商売人の周りの人も地元以外の人になるため、地元のルールを周知する必要があると思う。

今年はコロナ明けで大勢の人が集まると見込まれるが、7、8月

記録者

警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
だけでなく9、10月も集まると思う。	
委員	・ 山車まつり警備では、動線を作ってそれに沿って安全運行に協力しているが、現場の山車組の人にまで徹底されていないという問題があった。
委員	・ 自主警備は沿道と会場内で分かれている。令和5年10月開催時には50万人が来場した。観光客からの苦情は「道路を通れない」というものが多かったので、山車の動線を含め、交通規制の内容をいかに徹底するかという方策が必要だと思う。
委員	・ 地域の祭りとして準備するに当たって、警備内容は警察から助言を受けるように指導してはどうか。 伝統文化の継承も、少子化で止まるおそれもある中、コロナ禍で一度リセットされてしまったようなもので、コロナ禍以前と同規模開催は今年が初めてになり、事故が発生したと聞いている。
委員	・ 地元には山車が4台あるが、他地区で事故があったと聞いて緊張感が走った。文化継承のため、「長老は申し送りを 若きは故きを温ねよ」という言葉がキーワードだと思う。 自分が祭りを取り仕切る立場になると、「運行遅れで迷惑をかけるないように」と思うと、事前の準備、計画をするに当たって、どこにどのように相談すべきかと心配である。
警察	・ 警察に対しては、早い段階で相談があると良い。開催に際しての助言指導は、直前では間に合わない場合もある。2か月以上前から会場の配置を含めて出店業者をどうするか検討しているという段階
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
で相談してほしい。	
委員	・ これまで祭りの進行に関わっていると、交通規制と実行委員会は常に連絡を取っているようだが、会場警備という観点では接点が薄いという印象がある。バスの乗降場が毎回変わるという苦情やトラブルが頻繁にあり、規制と警備が一緒になればトラブルも減少するのではないか。
委員	・ 安全指導をしっかりとするため、祭り関係者にこそ安全指導が必要だと思う。
委員	・ 祭りは山車周りだけでなく、観光客も飲酒することから、飲酒に伴うトラブルが発生する可能性がある。この点を注意する広報を現場でするようにしてはどうか。
委員	・ 自主警備に限らず、安全意識の低下が事故につながることから、曳き手や祭りの組に所属している人の中で若い人たちにそれを説明し、注意事項を伝えることで楽しい祭りの継承につながるのではないか。
委員	・ 海岸での外国人による騒ぎを抑えるのは地元だけではなかなか難しいところがあり、特に迷惑駐車は自治体と警察で対応してほしい。
委員	・ 共生の時代ということで、今後外国人居住者はもっと増えるが、日本人に若手がいけないというのが問題である。
委員	・ 共生の時代であればこそ、外国人居住者もパトロールさせてはどうか。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨			
委員	<p>・ 外国人に限らず、新しく地区に住む人に説明をするのは古くからの共生の方法である。「聞いていない」ともめないよう、地区での参加行事を説明し、特に外国人研修生の受入先である商工会等を通じて行えば効果も期待できるのではないかと。</p> <p>地域の文化について理解できるよう説明する重要性は、過去に日本人が少なくなった団地でのゴミ出しによるトラブルがよく知られているが、「郷に入っては郷に従え」を丁寧に行政と一緒に警察も説明の場に加われれば良いと思う。</p>		
委員	<p>・ 今は外国人居住者も防犯パトロールに参加している。近くに大学ができて、その学生も参加している。特にコロナ前と雰囲気が変わっているようだ。</p> <p>新たに住民となる人が地域に溶け込めるよう、外国人のリーダーを育て、共生させるシステムを作る働きかけを自治体にしてはどうか。</p>		
委員	<p>・ 地区内の清掃活動には、会社の寮に住む外国人居住者30人全員が活動に参加していた。この経験は、コミュニティでの話合い、共生がうまくいっている例だと思う。</p>		
委員	<p>・ 時代の変化への対応も含めて、地域の実情に応じた地域警察活動の重要性を踏まえ、安全対策に取り組めるよう、自治体と連携して取り組んでほしい。</p>		
7 答申			
(1) 情勢の変化に即応できる事件事故対処能力の向上			
	<table border="1"> <tr> <td>記録者</td> <td>警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

会議の経過及び発言の要旨	
(2) 山車まつり文化の継承に欠かせない警察による安全指導の推進	
(3) 夏季における南知多町海水浴場の安全対策の更なる強化	
8 その他	
次回開催予定は、令和6年8月から9月にかけてとする。	
記録者	警務係長